

株主の皆様へ

「ひと・もの・心」を大切に



第98期 中間事業報告書 平成25年4月1日▶▶▶平成25年9月30日



中越パルプ工業株式会社

証券コード：3877

経営理念 Management Concept

私達中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、永続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

三、向上心あふれる働き甲斐のある会社

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくります。

Contents

● 経営理念	1	● 連結業績サマリー	7
● 株主の皆様へ	2	● 連結決算概要	8
● 成長戦略	3	● 会社概要	9
● トピックス	5	● 株式の概況	10



揺るぎない闘志と覚悟で
真に強い「中越パルプグループ」を
築いてゆきます。

代表取締役社長 原 田 正 文

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第98期第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の事業概況につきましてご報告いたします。

当上半期における当社の状況は、円安の進行による輸入紙から国内紙への転換ならびに国内需要の緩やかな回復基調に支えられ前年同期に比べ増収増益となりました。一方、急速な円安による木材チップの高騰、重油をはじめ薬品など原燃料価格の急騰により、企業活動を取り巻く環境はさらに厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループは中長期成長戦略プラン「ネクストステージ50」の必達に邁進し、将来の発展に向けた新規需要の掘り起こしや新製品の開発、情報伝達手段の変化に伴う需要構造の変化に果敢に立ち向かい、「中paraしさ」の具現化で強い存在感を示すとともに、将来にわたり真に強い企業グループを築いてまいります。

今後とも、株主の皆様のご期待にこたえるべく、真に愛され、信頼される企業創りに努めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中長期成長戦略プラン「ネクストステ

連結売上高1,100億円、連結経常利益55億円を確保できる企業体質の構築に向けてスタートした「ネクストステージ50」は当上半期で半年が経過いたしました。

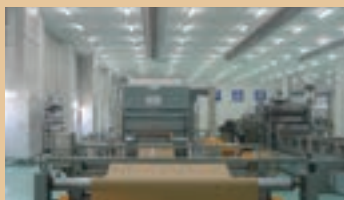
「ネクストステージ50」の取り組みについて現在までの進捗状況をご報告いたします。

● 包装用紙生産と製袋事業の 発展強化の取り組み

中国・青島での製袋事業（※王子製袋株式会社との共同出資事業）は本年9月に営業運転を開始しました。

ベトナムでの製袋事業は、ホーチミン近郊に現地法人「ジャパンペーパーテクノロジー ドンナイ」を設立し、平成26年秋の開業に向けて準備を進めております。

今後はアジア圏における事業基盤の確立に努めてまいります。



建屋および工場設備
(中国・青島)



ジャパンペーパーテクノロジー ドンナイ 工場完成予想図

● エネルギー事業への参入

鹿児島県薩摩川内市唐浜社有地に、本年8月より太陽光発電設備「唐浜メガソーラー発電所」が稼働し、売電事業を開始しました。

平成27年秋稼働予定の川内工場木質バイオマス発電設備については、燃料となる未利用木材の集荷基盤の確立と新ボイラ設備の建設を順次進めております。

当社グループは地球環境保全の観点から、再生可能エネルギーを最大限活用した事業活動を推進することで、さらなる企業価値の向上と収益基盤の確立に努めてまいります。



唐浜メガソーラー発電所

「ジ50」の取り組み

●コスト削減の取り組み

「プラス30計画」で築いた収益基盤をより強固なものとするため、生産体制の見直しを含め35億円/年を目標とする抜本的コスト削減対策「コストダウン サードステージ」を「ネクストステージ50」の柱のひとつとして強力に推進しております。

抜本的な構造改善による収益基盤の確立に向けて、スピードを上げて取り組んでまいります。

●生產品種の構造転換の推進

高級板紙系の加工原紙の拡販に向けた営業活動、開発活動を強力に展開するとともに、平成27年度中の抄紙機の稼働に向けた取り組みを進めてまいります。

●パルプ高度利用化の取り組み

セルロースナノファイバーの商品化に向けた取り組みや新規用途の開発に向けて全社を挙げた取り組みを進めてまいります。

なお、現在高岡工場では需要動向に機動的に対応できる生産体制の構築と、パルプ生産能力を最大限に活用したエネルギーコスト削減を目標としてパルプマシンの建設を進めています。

設置工事は最終段階を迎え、本年12月に本稼働いたします。

また抄紙機等の新規設備の建設用地確保のため水面整理場の埋め立て工事に着工いたしました。

水面整理場の埋め立てにより4万㎡の工場用地が新たに確保されます。



水面整理場の埋め立て工事に着工



新パルプマシン
12月稼働に向け急ピッチで建設を進めています

トピックス

「中パの森」の取り組み

昨年の鹿児島県薩摩川内市での開所につづき、本年9月、富山県射水市で「中パの森」が開所しました。「中パの森」は企業の森づくり活動の一環として、鹿児島県薩摩川内市、富山県射水市の社有林を、自然観察や憩いの場として活用していただけるよう整備を行って来ました。

これまでに森林ボランティアの方430名が参加しての森林整備活動や、世界21カ国が参加している森林環境教育／LEAF (Learning About Forests) プログラムなどを実施しております。

たくさんの皆様に森と触れ合っていたくことで、里山の大切さを感じていただくともに、地球環境保全に対する当社の姿勢をこれからも伝えてまいります。

TOYAMA



開所式の様子(富山県射水市)



全員で植樹や植栽を行いました



森林ボランティアによる整備活動を実施(鹿児島県薩摩川内市)



力を合わせ森を整備しました

KAGOSHIMA

竹紙の活用

●本業を通じて、社会的課題の解決を図る「竹紙」の取り組み。

15年前から地域の為に始めた竹の活用は、全国に広がる放置竹林問題、生物多様性、里山、森林保全、地域経済等に貢献できる活動として、高い評価を受けています。

●共感するだけでなく、

ともに行動する素敵な活用例が増えています。

銀座三越、日本橋三越本店では、6月「グローバル・グリーンキャンペーン」、7月「三越の七夕」、8月から9月「秋のいどり祭ARTワークショップ」で、表通りのディスプレイ、七夕の短冊、パンフレットに竹紙100ナチュラルを採用いただき、自社の発信の中で、中越パルプの社名と取り組みを掲載して、多くのお客様に伝えていただきました。



©2013 ISETAN MITSUKOSHI



©2013 ISETAN MITSUKOSHI

ちくりん便り

当社の環境保全マスコット「ちくりん」。地域の皆様と触れ合い、竹紙の取り組みなど当社の環境に対する取り組みを伝えていきます。



みんなの笑顔がぼくの“元気の素”。
中パの取り組みを伝える
メッセンジャーとしてこれからもがんばります。
ちくりん みなさん応援をお願いします。



7月 高岡七夕まつり
利長くん、家持くん、あみたん娘と共演

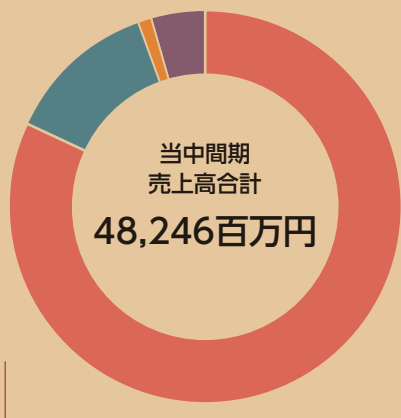


7・8月 カターレ富山とのコラボイベント
熱い戦いに感動!!

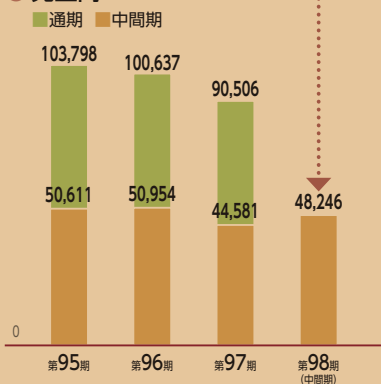


9月 中パの森開所式
みんな笑顔で“ハイチーズ”

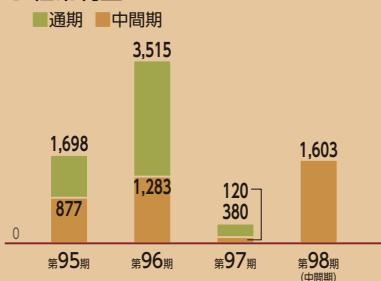
連結業績サマリー Consolidated Financial Summary



● 売上高 (単位: 百万円)



● 経常利益 (単位: 百万円)



● 紙・パルプ製造事業 82.1%

連結売上高 39,606百万円 (前年同期比 7.6%増) 連結営業利益 903百万円 (前年同期比 870百万円増)

円安による輸入紙から国内紙への転換と、国内景気が緩やかな回復基調で推移するなか、市場動向に即した販売戦略と価格政策の実行により印刷情報用紙分野を中心として数量・金額とも増加しました。

● 紙加工品製造事業 12.5%

連結売上高 6,038百万円 (前年同期比3.7%増) 連結営業利益 157百万円 (前年同期比153.2%増)

アベノミクスの効果に伴う景気回復により、需要が回復したことに加え、コスト削減による収益力向上に努めた結果、増収増益となりました。

● 発電事業 1.1%

連結売上高 543百万円 連結営業利益 119百万円

太陽光発電設備の順調な稼働と、二塚製造部2号ボイラでの発電事業の継続により、当社の新たな収益基盤として効果を発現しました。

● その他の事業 4.3%

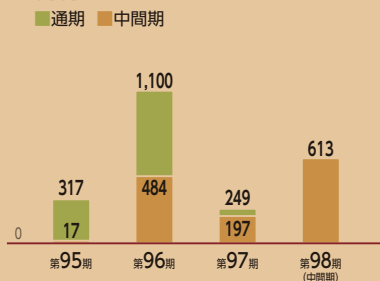
連結売上高 2,056百万円 (前年同期比5.4%増) 連結営業利益 329百万円 (前年同期比316百万円増)

運送事業、建設事業については、紙製品の売上増加に伴う取扱量の増加、公共工事などの外部工事の積極的な受注に努めた結果、増収増益となりました。

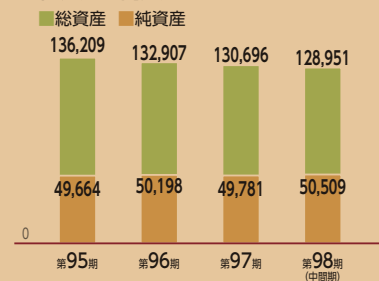
※報告セグメントの利益又は損失の金額と連結損益計算書計上額との差額の内容

報告セグメント計	1,180百万円
「その他」の区分の利益	329百万円
固定資産の調整額	12百万円
セグメント間取引消去	50百万円
その他の調整額	△0百万円
連結損益計算書の営業利益	1,572百万円

● 純利益 (単位: 百万円)

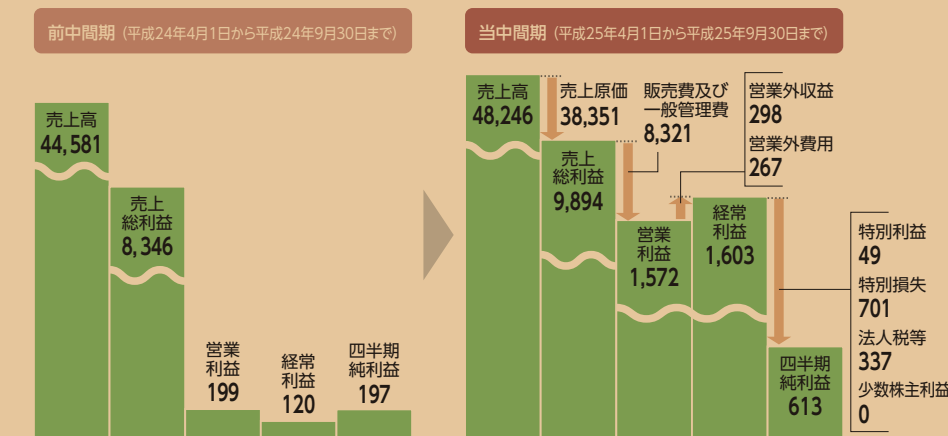


● 総資産/純資産 (単位: 百万円)



連結決算概要 Summary of Consolidated Results

● 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



▶ 連結損益計算書(要約)

円安による輸入紙から国内紙への転換ならびに国内需要が緩やかな回復基調に転じるなか、市場動向に即した販売政策と一定の価格復元により売上高は前年同期比8.2%の増収となりました。経常利益は、増販・増産による収益向上および「ネクストステージ50」でのコスト削減対策を強力に推進したことにより原燃料価格の急騰などのコスト悪化要因をカバーした結果、前年同期比で大幅な増益となりました。

● 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

前期末 (平成25年3月31日現在)	当中間期末 (平成25年9月30日現在)	前期末 (平成25年3月31日現在)	当中間期末 (平成25年9月30日現在)
資産合計 130,696	資産合計 128,951	負債純資産合計 130,696	負債純資産合計 128,951
流動資産 50,479	流動資産 47,842	負債 80,915	負債 78,442
固定資産 80,217	固定資産 81,109	純資産 49,781	純資産 50,509

▶ 連結貸借対照表(要約)

総資産は、現金及び預金が2,575百万円減少した一方、有形固定資産が1,106百万円増加したことにより差し引きで前期比1,744百万円減少しております。

負債は、支払手形及び買掛金が1,689百万円減少したことにより前期比2,472百万円減少しております。

純資産は、配当金の支払116百万円と四半期純利益613百万円との差し引きで497百万円増加、その他有価証券評価差額金が241百万円増加したことにより前期比728百万円増加しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)

科目	当中間期 平成25年 4月 1日から 平成25年 9月30日まで	前中間期 平成24年 4月 1日から 平成24年 9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,595	4,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,850	△768
財務活動によるキャッシュ・フロー	△321	△795
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,575	3,192
現金及び現金同等物の期首残高	10,698	6,037
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,122	9,229

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

減価償却費4,305百万円を中心とする営業活動によるキャッシュ・フロー3,595百万円を主に設備投資などに5,850百万円(投資活動によるキャッシュ・フロー)、配当金の支払などに321百万円(財務活動によるキャッシュ・フロー)、それぞれ充当いたしました。

会社概要 Company Information

会社概要 (平成25年9月30日現在)

商号 中越パルプ工業株式会社

本店所在地 東京都中央区銀座二丁目10番6号

創業 昭和22年2月

資本金 17,259百万円

グループ従業員 1,644名

主要な事業内容 ◎パルプ・印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・特殊紙・高級板紙および古紙入り再生紙、竹紙等の製造ならびに販売

事業所 東京本社 高岡本社
 大阪営業支社 福岡営業所
 名古屋営業所 北陸営業所
 川内工場 高岡工場
 生産本部 二塚製造部

役員 (平成25年9月30日現在)

取締役(兼執行役員)・監査役

代表取締役社長	原田正文
専務取締役	加藤明美
取締役	姥島文夫
取締役	古田清隆
取締役	高岸伸
取締役	植松久
常任監査役(常勤)	村島和夫
監査役(社外)	平戸恭一
監査役(社外)	野田晃子

グループ概要 (平成25年9月30日現在)

紙・パルプ製造事業	三善製紙株式会社	その他関係会社	中部紙工株式会社 中央紙工株式会社 九州紙管株式会社 石川紙工株式会社 東北中部紙工株式会社 有限会社南薩緑化センター Japan Paper Technology Dong Nai(VN)Co.,Ltd. Japan Paper Technology(Viet Nam)Co.,Ltd. エヌシー共同開発株式会社 王子製袋(青島)有限公司 New Zealand Plantation Forest Co., Ltd. Acacia Afforestation Asia Co., Ltd.
紙加工品製造事業	中越パッケージ株式会社 株式会社文運堂		
その他の事業	中越緑化株式会社 中越物産株式会社 中越ロジスティクス株式会社 中越テクノ株式会社 共友商事株式会社 共同エステート株式会社		

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数	450,000,000株
発行済株式の総数	116,654,883株
株主数	10,031名

●大株主の構成

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
王子ホールディングス株式会社	10,539	9.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,139	6.12
日本紙パルプ商事株式会社	7,106	6.09
株式会社北陸銀行	5,735	4.92
新生紙パルプ商事株式会社	5,648	4.84
国際紙パルプ商事株式会社	5,341	4.58
株式会社みずほ銀行	4,013	3.44
農林中央金庫	4,013	3.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,989	3.42
三井住友海上火災保険株式会社	2,364	2.02

(注) 千株未満は切り捨てて表示しております。

●所有者別分布状況

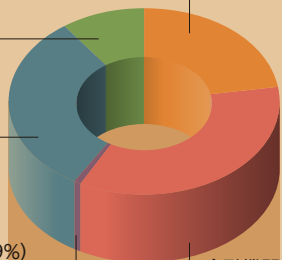
外国人 115名
11,391千株 (9.8%)

その他国内法人 205名
36,709千株 (31.5%)

証券会社 43名
1,133千株 (0.9%)

個人・その他 9,627名
26,437千株 (22.7%)

金融機関 41名
40,984千株 (35.1%)



第97期定時株主総会における 議決権行使の集計結果に関するお知らせ

1. 議決権の状況

議決権を有する株主数	7,512名
議決権の数	116,024個

2. 議決権行使状況

	株主総会前日 までの議決権行使 (事前行使)	株主総会 当日出席による 議決権行使	議決権行使 合計
株主数	2,461名	124名	2,585名
議決権行使個数	82,620個	12,056個	94,676個
行使率	71.2%	10.4%	81.6%

3. 議決権行使結果

	賛成数	反対数	棄権数	賛成比率
第1号議案 剰余金の処分の件	92,907個	250個	2個	98.13%
第2号議案 取締役6名選任の件				
原田 正文	85,118個	8,079個	2個	89.87%
加藤 明美	91,485個	1,712個	2個	96.59%
姥島 文夫	91,500個	1,697個	2個	96.60%
古田 清隆	92,113個	1,084個	2個	97.25%
高岸 伸	92,155個	1,042個	2個	97.30%
植松 久	92,553個	644個	2個	97.72%

賛成数は、事前行使における賛成数と当日出席株主から各議案の賛否に関して確認できた賛成数を合計したものです。

株主メモ Shareholder Information

株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

**株主名簿管理人および
特別口座管理機関** 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
各種お問い合わせ先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

単元株式数 1,000株
上場証券取引所 東京 市場第一部

ホームページのご案内

<http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>

当社ホームページに、最新トピックスほか当社のIR情報を随時発信し、ご提供しております。



お知らせ

●**住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

●**復興特別所得税について**

「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」の施行により、2013年1月1日から2037年12月31日までの間にお受け取りいただく配当金については、所得税額の2.1%が「復興特別所得税」として課税されておりますので、ご案内申し上げます。

上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について

	2013年	2014年~2037年	2038年~
所得税	7%	15%	15%
復興特別所得税	0.147%	0.315%	—
住民税	3%	5%	5%
合計	10.147%	20.315%	20%

※2013年12月31日をもって上場株式等の配当等に係る10%軽減税率(所得税7%、住民税3%)は廃止され、2014年1月1日以降は本来の税率である20%(所得税15%、住民税5%)が適用されます。

用紙

国産の竹を原料とした紙「竹紙100 ナチュラル100g/m²」を使用しております。



表紙

富山県高岡市 雨晴海岸(写真提供:高岡市)



中越パルプ工業株式会社

東京本社 東京都中央区銀座2-10-6 Tel 03-3544-1524
高岡本社 富山県高岡市米島282 Tel 0766-26-2401

